

第91回日本衛生学会 学術総会

日時：3月6日（土）～8日（月）

テーマ：これからの衛生学と日本衛生学会の使命

開催方法：Web 開催

プログラム（予定）：若手自由集会企画シンポジウム／シンポジウム1「市民公開講座Ⅰ一日用品に由来する化学物質の曝露と体内動態」／自由集会「衛生学のための生体情報および人口知能の活用」／教育協議会世話人会／若手の会／シンポジウム2「市民公開講座Ⅱ—エコチル調査—10年のあゆみ」／社会医学系専門医指導医共通講習「医療倫理における臨床研究倫理—医療における研究者として」寺元剛／シンポジウム3「エビデンスに基づく栄養と健康」／「アフターコロナの健康管理・健康維持における森林医学の活用」／次期会長講演「大気汚染の健康影響への取り組みから」島正之／衛生学会賞受賞講演「国民の健康の増進に資するコモンディージーズの予防医学研究」須賀万智／奨励賞受賞講演「妊婦の生活環境由来および環境化学物質曝露と児の発育に関する疫学研究—特に遺伝環境交互作用に基づくハイリスク集団の解明」小林澄貴／教育講演1「衛生学と行動科学—新型コロナウイルス感染症を行動科学的に見る」堀悦郎／メインシンポジウム「“連携”をキーワードにした衛生学研究の展開」／教育講演2「生命科学におけるデジタルトランスフォーメーション」高木利久（富山国際大学）／社会医学系指導医講習会／教育講演3「ヒトゲノム解読の歴史とゲノム情報の衛生学への

応用」清水厚志／社会医学系専門医指導医講習会「医療安全を確保するための取り組みと課題」長島久／シンポジウム5「ゲノム医療・先制医療の時代における衛生学の役割」／編集委員会シンポジウム／特別講演「新型コロナウイルス感染症の疫学的特徴」西浦博（京都大学）／シンポジウム6「市民公開講座Ⅲ—イタイイタイ病の歴史と展望」

参加登録期限：3月22日（月）

参加費（1月9日以降）：一般9000円、学生5000円

学会事務局：富山大学学術研究部医学系公衆衛生学講座

〒930-0194 富山県富山市杉谷2630

☎ 076-434-7276

運営事務局：株式会社 PCO 内

〒939-8063 富山県富山市小杉120

☎ 076-429-5708

✉ jsh91@pcojapan.jp

第4回新生児生命倫理 研究会

日時：3月6日（土）13:00～16:30

開催方法：Zoom Webinar によるオンラインセミナー

プログラム：特別講演「医療におけるパターンリズム」瀬戸山晃一（京都府立医科大学医学生命倫理学）／講演1「出生前遺伝学的検査と着床前診断のガバナンス」武藤香織（東京大学医科学研究所ヒトゲノム解析センター）／講演2「子どものいのちをめぐる対話—代理意思決定について考える」笹月桃子（西南女学院大学保健福祉学部）

対象：医療関係者

参加費：無料

申込締切：2月28日（日）

問い合わせ先：新生児生命倫理研究

会事務局 東京大学小児科 高橋尚人

☎ 03-5800-8659

✉ nicu-office@umin.org

URL nicu.umin.jp

講演会「ネウボラでの子育て・家族支援—レッツトーク・アバウト・チルドレンの実践」

日時：2021年3月20日（土）

15:00～18:00

開催方法：Web 開催（Zoom）

内容：フィンランドのネウボラでレッツトーク・アバウト・チルドレン（LT）を実践してきたエバスオヤ氏を招き、支援の実際や有用性などを紹介する。LTとは、フィンランドの国家的プロジェクトの中で、児童精神科医ソランタウス氏が開発した子どもと家族への子育て支援法。精神疾患を持つ親と子ども・家族への支援の他、最近では、ネウボラ、学校、幼稚園、保育園など多様な場で用いられている。フィンランドの社会保健省はフィンランド全土における保健・医療・福祉サービスでの実施を推奨している。

プログラム：趣旨説明／ビデオメッセージ トウッティ・ソランタウス（フィンランド国立健康福祉研究所）、「日本でのLTについて」上野里絵（東京医科大学）、長田洋和（白百合女子大学）／招聘講演（日本語）「ネウボラでの子育て・家族支援—レッツトーク・アバウト・チルドレンの実践」ミンナ・エバスオヤ（フィンランドの保健師）

参加対象：子育て支援や精神保健に関わる専門家

参加費：無料

定員：100名（先着順）

申し込み・問い合わせ：下記メールに、氏名、所属、連絡先（メールア

ドレス)を記載して送信
☐LTWS2019@gmail.com

第94回日本産業衛生学会

日時: 5月18日(火)~21日(金)
※オンデマンド配信(予定): 6月1日(火)~14日(月)

会場: まつもと市民芸術館, 等(長野県松本市)

テーマ: 全ての人に産業保健の光を
事前参加登録期限: 3月12日(金) 14:00

参加登録費: 【事前】学会員1万円, 非学会員1万2000円, 学生・大学院生7000円

【当日】学会員1万2000円, 非学会員1万5000円, 学生・大学院生9000円

学会事務局: 信州大学医学部衛生学公衆衛生学教室

〒390-8621 長野県松本市旭3-1-1
☎0263-37-2622

運営事務局: 株式会社JTBコミュニケーションデザイン ミーティング&コンベンション事業部

〒541-0056 大阪府大阪市中央区久太郎町2-1-25 JTBビル7階
☐sanei94@jtbcom.co.jp

日本看護倫理学会第14回年次大会

日時: 5月29日(土)~5月30日(日)

開催方法: Web開催

テーマ: ケアの倫理を教える・学ぶ・実践する Teaching, Learning, and Practicing Care Ethics

プログラム: 大会長講演「ケアの倫理: 対話のプラットフォームから共鳴する看護実践の価値」八尋道子(佐久大学) / 基調講演「尊厳を高める看護ケア: ケアの倫理のアプローチ Dignity-Enhancing Nursing

Care: A Care Ethics Approach」クリス・ガストマン(ルーヴェン・カトリック大学) / 教育講演1「認知症高齢者の意思のとらえ方」堀内ふき(佐久大学) / 2「よりよく生きるためのACP」鶴若麻理(聖路加国際大学) / 3「careとethicsの語源とその本質」江藤裕之(東北大学大学院) / シンポジウム「倫理的行動を促進する看護倫理教育の実際と評価の視点」福宮智子(昭和大学病院), 他 / 市民公開講座「幸せな死とは何だろうか」宮下洋一(ジャーナリスト), 他

事前参加登録期限(予定): 4月26日(月)

運営事務局: 株式会社プロコムインターナショナル

〒135-0063 東京都江東区有明3-6-11 TFTビル東館9階

☎03-5520-8821

☐jnea14th@procom-i.jp

大会事務局: 佐久大学看護学部

〒385-0022 長野県佐久市岩村田2384

☎0267-68-6680

URL procomu.jp/jnea2021/index.html

日本小児看護学会第31回学術集会

日時: 【ライブ配信】6月26日(土)~27日(日)

【オンデマンド配信】7月1日(木)~18日(日)

開催方法: Web開催

テーマ: コラボレーションで小児看護の未来を拓く

プログラム: 会長講演「臨床と教育とのコラボレーション—小児専門病院の実践へのセルフケア理論の導入と活用」添田啓子(埼玉県立大学) / 特別講演「みんなと地域でインベーション—医療的ケア児・家族の笑顔のために」黒木健太(NPO法

人フローレンス) / 教育講演「臨床からの発信を研究に—事例研究で看護がつながる」山本則子(東京大学大学院医学研究科) / シンポジウム「子どもの“生きる”を支えるケア—新しい発想での多職種・他分野とのコラボレーション」松岡真里(京都大学大学院成育看護学), 小澤竹俊(めぐみ在宅クリニック), 久保田一男, 久保鈴美(難病患者を支援する会), 松下博宜(東京情報大学看護学部) / テーマセッション / 一般演題発表 / 他

参加登録締切: 5月25日(火)

参加者: 1600名(予定)

学術集会事務局: 埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科小児看護学
〒343-8540 埼玉県越谷市三野宮820

運営事務局: 幕張メッセ・事業企画課

〒261-8550 千葉県千葉市美浜区中瀬2-1

☎043-296-0623

☐info@jschn31.jp

URL www.jschn31.jp/index.html

開催情報は2月1日現在のものです。最新の情報は主催者にお問い合わせください。

● ● ●

本欄へ掲載を希望する学会・研究会・講演会などのお知らせがありましたら、本誌編集室までお送りください。

● ● ●

〒113-8719

東京都文京区本郷1-28-23

☎03-3817-5774

☐hokenshi@igaku-shoin.co.jp